



主催: 金沢大学高大接続コア・センター
問合せ先: 金沢大学高大接続コア・センター
E-mail: kugspro@adm.kanazawa-u.ac.jp

第12回 金沢大学高大接続 ラウンドテーブル

プログラム（予定）：

- ◆ 高校生の探究学習報告（1人5～10分程度）
- ◆ 探究活動の報告を踏まえたグループワーク

詳細は「**高大接続ラウンドテーブル
特設サイト**」にてお知らせします。
参加申込方法等の掲載は、**令和8年
1月**ごろを予定。



ラウンドテーブルについて
もっと知りたい人は、チラシ
裏面やこちらのQRコードへ。



日時：令和8年3月14日（土）
場所：金沢大学 自然科学大講義棟，自然科学本館

高大接続ラウンドテーブルとは

—第10回高大接続ラウンドテーブル（2023.3.26）実施報告—

高大接続ラウンドテーブルはKUGS高大接続プログラムの一つで、参加者の高校生や大学生がテーマについてディスカッションする中で、さらに学びを深めていくプログラムです。

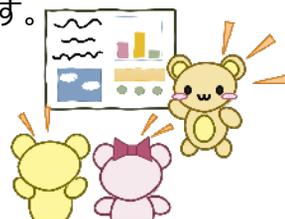
前半：高校生の探究学習発表

グループに分かれて自分が取り組んだ探究学習を発表します。それに対して、同じグループの高校生や大学生ファシリテーターが感想や質問などを行います。

↓ 高校生による発表



↑ 全体の様子。高校教員や保護者も見学

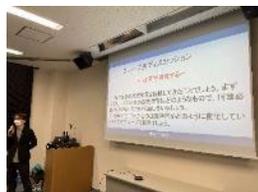


高校生の発表テーマ（一部）

ファストファッション、古墳の内部構造解明、メタン発酵によるビジネスモデル、AIの問題点、金属腐食、五箇山、研修医、マーケティング…など

後半：グループディスカッション

前半の発表やこの間の探究学習の経験を踏まえ、「探究学習とは何か」「これからの探究学習がどうなってほしいか」をテーマにグループで話し合います。大学生が自分の経験や大学での取り組みについて紹介する場面も。



← ディスカッションのテーマについて説明



↑
← グループごとに、自分自身の経験や前半の発表を聞いて考えたことを意見交換

クロージングセッション

「探究学習とは何か」「これからの探究学習がどうなってほしいか」というテーマについてグループでまとめた意見を参加者全員で共有します。

参加者から「課題発見や物事を違う目線で見ると、探究学習でないと身につかない」「身近な疑問から社会に役立つ研究を行うことが、よりよい探究学習の環境につながる」「改善点や新しい気付きを見つけるには、今回のような交流の場が重要」などの意見が出されました。



← グループ内で出た意見をまとめて、参加者全体に報告・共有

参加者みんなで記念撮影→



◆ 参加者の感想(抜粋) ◆

● 全国の同年代の人の話を聞いて、いい刺激になった。今日考えたことを今後につなげていきたいし、実際に金大生からお話しも聞いてより意識が上がった。 ● それぞれの探究について興味湧いて、自分でも調べてみたいと思いました。 ● それぞれの発表から得られた、探究活動の意義や今後の展開について知ることができ、高校に持ち帰ってそれらを導入できればいいと思います。 ● 自分の探究していない分野について話を聞くことができたのでとてもよい経験になった。 ● 県外の高校生と探究について話すことなんてないので、とても有意義な時間になった。自分が感じている探究についての疑問を同じように持っている人がいて話し合いが面白かった。 ● 自分が完璧だと思っていたものを壊してもらえる機会に恵まれたと思っています。今まで校内での発表しかしていなかったので、今回のように様々な学校の様々な人からの意見をもらえ、自分たちの意見を再構築するきっかけになりました。